

第89期中間報告書

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ	1
業績の推移	3
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
TOPICS	7
会社概要	9
株主メモ	裏表紙



株式
会社

日本製鋼所

証券コード：5631

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第89期中間報告書
(2014年4月1日~2014年9月30日)を
お届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

佐藤育男



||| 当中間期の業績

当中間期における海外経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな景気回復が続きました。米国では個人消費が堅調に推移するなど、緩やかに景気が回復し、欧州では、地政学的リスクの高まりの影響はあるものの、全体として景気持ち直しの動きが継続しました。中国では、不動産開発投資の減速等により、景気の拡大テンポは緩やかなものとなりました。一方、わが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響はあったものの、雇用・所得環境

の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「利益・効率の向上と売上規模の追求」ならびに「資産の効率化と高収益化」を目標に据え、事業活動を推進してまいりました。

当社グループにおける当中間期の業績につきましては、受注高は、主に素形材・エネルギー事業の増加により、1,018億66百万円（前年同期比13.4%増）となりました。素形材・エネルギー事業において、原

子力製品需要の本格回復の遅れを補うための各種戦略を進めておりますが、クラウド鋼管で受注を拡大することができました。加えて、産業機械事業においても、樹脂製造・加工機械の大型化に対応した案件の受注、成形機の自動車分野における受注拡大など、今後の事業展開に意義ある案件を受注することができました。

売上高は、主に素形材・エネルギー事業の増加により、941億83百万円（前年同期比11.5%増）となりました。これにより、営業利益は36億72百万円（同54.0%増）、経常利益は48億43百万円（同64.5%増）となりましたが、四半期純損益は、風力事業損失引当金繰入額159億67百万円を特別損失として計上したことにより、73億49百万円の損失（前年同期は四半期純利益17億79百万円）となりました。

なお、今般発生いたしました当社製風力発電機器における不具合につきまして、株主の皆様にご多大なるご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

III 期初予想との差異及び通期業績見直し

当中間期の連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益はおおむね前回の予想通り推移いたしました。特別損失を計上したことにより、四半

期純利益は予想を下回りました。

通期の連結業績予想につきましては、風力事業損失引当金繰入額の特別損失計上に加え、第3四半期以降において売上製品構成の相違、操業減少、原材料価格の上昇が見込まれることから、営業利益、経常利益及び当期純利益につきまして、前回の予想から減少し、売上高は2,000億円、営業利益は75億円、経常利益は85億円、当期純損失は45億円を見込んでおります。

III 当期の配当

当中間期の配当金につきましては、中間期の業績及び通期予想を修正する状況を勘案し、ご期待に沿えず申し訳ございませんが、直近の配当予想に対し0.5円減少の2円とさせていただきます。また、期末配当につきましても、直近の配当予想に対し0.5円減少の2円とし、年間配当金は1株当たり4円を見込んでおります。

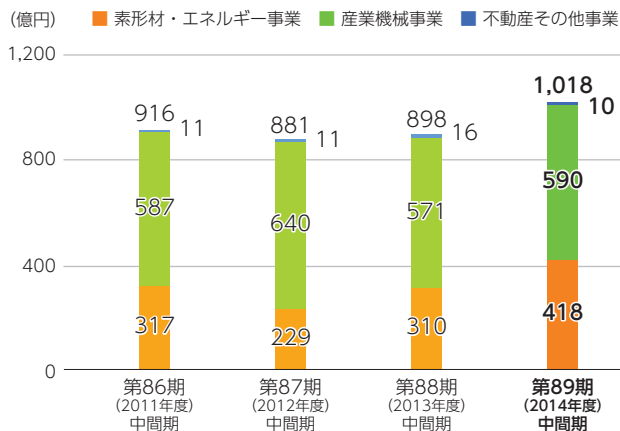
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

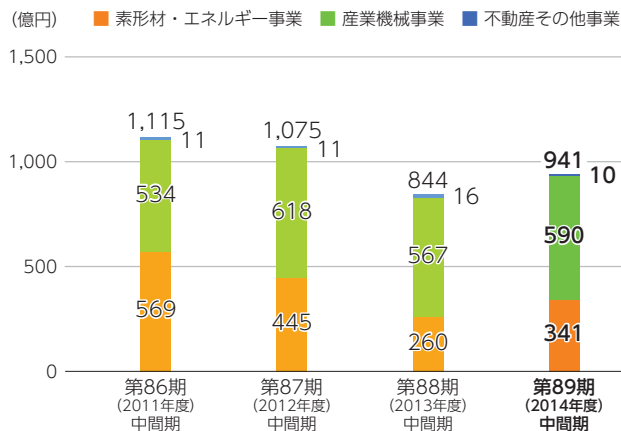
業績の推移

- 素形材・エネルギー事業：増収・損失幅縮小、受注は大幅増。
- 産業機械事業：増収減益、受注は増加。

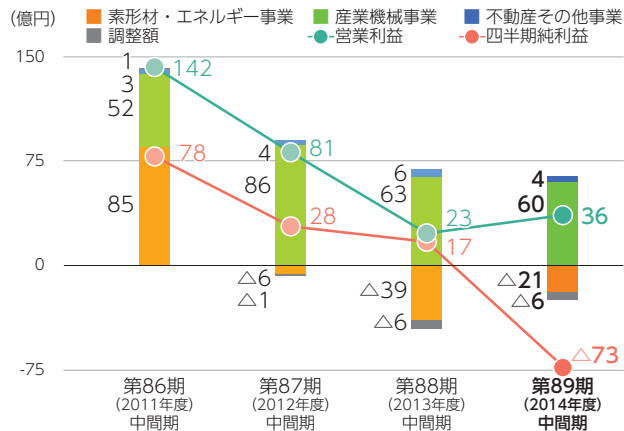
受注高の推移



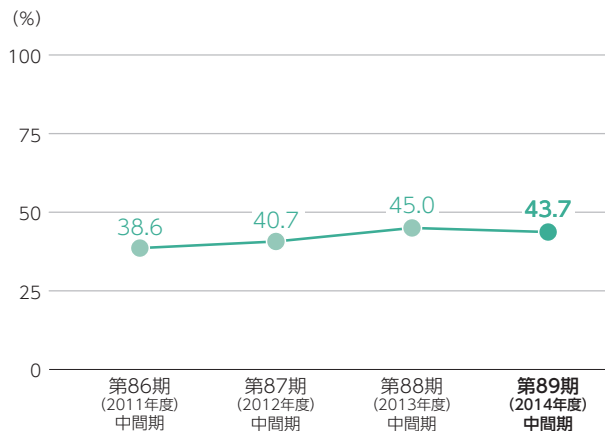
売上高の推移



営業利益・四半期純利益の推移



自己資本比率の推移



事業別の概況

素形材・エネルギー事業

受注高	418億円	〔前年同期比107億円増、34.6%増〕
売上高	341億円	〔前年同期比 80億円増、30.7%増〕
営業損失	21億円	〔前年同期比 17億円改善〕

受注高は、クラッド鋼管で大口案件の受注があったことに加え、電力・原子力製品も増加し、418億19百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

売上高は、電力・原子力製品が増加したほか、クラッド鋼板も増加したことから、341億1百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

営業損益は、売上高の増加に加え、大型プレス部品など新規需要開拓に向けた活動の成果により損失幅が縮小し、営業損失21億63百万円（前年同期は営業損失39億31百万円）となりました。

主要な事業内容

電力・原子力製品

発電用品、原子力関連機材等の製造・販売

石油精製用圧力容器

石油精製・石油化学・一般化学用品、化学機械用品等の製造・販売

クラッド鋼板・鋼管

クラッド鋼板、クラッド鋼管、その他極厚鋼板等の製造・販売

風力発電機器

風力発電機器の製造・販売・保守

その他

鉄鋼用品、金型材等の製造・販売

●主要な工場

室蘭製作所（北海道室蘭市）

産業機械事業

受注高	590億円	〔前年同期比 18億円増、3.3%増〕
売上高	590億円	〔前年同期比 23億円増、4.1%増〕
営業利益	60億円	〔前年同期比 2億円減、4.4%減〕

受注高は、圧縮機が減少したものの、自動車向け成形機の増加により、590億30百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

売上高は、前年同期に大口売上があったレーザーアニール装置が減少したものの、樹脂製造・加工機械と成形機の売上が増加したことから、590億53百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

営業利益は、売上製品構成の変化により、60億52百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

主要な事業内容

樹脂製造・加工機械

樹脂製造・加工機械（造粒機、コンパウンド用押出機、フィルム・シート製造装置等）の製造・販売

成形機

プラスチック射出成形機、中空成形機の製造・販売

その他

圧縮機、油圧機器、電子部品・ディスプレイ製造関連機器（レーザーアニール装置等）、マグネシウム合金射出成形機、各種連結器・緩衝器、防衛関連機器等の製造・販売・修理

●主要な工場

広島製作所（広島県広島市安芸区）

横浜製作所（神奈川県横浜市金沢区）

不動産その他事業

受注高	10億円	売上高	10億円	営業利益	4億円
-----	------	-----	------	------	-----

受注高は10億17百万円、売上高は10億27百万円、営業利益は4億55百万円となりました。

主要な事業内容

不動産管理等

不動産賃貸事業、業務支援・管理サービス事業等

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期 2014年3月31日現在	当中間期 2014年9月30日現在
POINT ① 資産の部		
流動資産	167,476	174,040
固定資産	125,662	124,721
有形固定資産	85,672	82,618
無形固定資産	855	772
投資その他の資産	39,134	41,330
資産合計	293,139	298,762
POINT ② 負債の部		
流動負債	98,848	112,302
固定負債	55,021	54,411
負債合計	153,870	166,714
POINT ③ 純資産の部		
株主資本	135,026	126,437
資本金	19,694	19,694
資本剰余金	5,425	5,425
利益剰余金	110,635	102,048
自己株式	△730	△730
その他の包括利益累計額	3,024	4,044
その他有価証券評価差額金	4,293	5,766
繰延ヘッジ損益	△130	△677
為替換算調整勘定	△96	△183
退職給付に係る調整累計額	△1,042	△861
少数株主持分	1,218	1,566
純資産合計	139,268	132,048
負債純資産合計	293,139	298,762

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当中間期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	84,482	94,183
売上原価	69,144	76,696
売上総利益	15,337	17,486
販売費及び一般管理費	12,952	13,814
POINT ④ 営業利益	2,384	3,672
営業外収益	1,084	1,516
営業外費用	524	345
経常利益	2,944	4,843
特別利益	119	222
特別損失	36	16,065
税金等調整前四半期純利益(△は損失)	3,027	△10,999
法人税、住民税及び事業税	1,398	1,933
法人税等調整額	△159	△5,697
少数株主利益	9	114
POINT ⑤ 四半期純利益(△は損失)	1,779	△7,349

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前中間期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	当中間期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	△3,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,807	△1,736
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,925	△770
現金及び現金同等物に係る換算差額	283	171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,437	△5,836
現金及び現金同等物の期首残高	50,972	42,297
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	498
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,534	36,959

POINT!

ポイント解説

POINT① 資産の部

資産合計は、前期末比56億23百万円増加し、2,987億62百万円となりました。これは主に、風力事業損失引当金計上に伴い繰延税金資産が増加したためであります。

POINT② 負債の部

負債合計は、前期末比128億43百万円増加し、1,667億14百万円となりました。これは主に、風力事業損失引当金計上により流動負債が増加したためであります。

POINT③ 純資産の部

純資産合計は、四半期純損益が73億49百万円の損失となったことにより、前期末比72億20百万円減少し、1,320億48百万円となりました。この結果、自己資本比率は43.7%(前期末は47.1%)となりました。

POINT④ 営業利益

営業利益は、素形材・エネルギー事業における売上高の増加、損失幅の縮小により、前年同期比12億87百万円増加しました。

POINT⑤ 四半期純利益

四半期純利益は、特別損失として風力発電事業損失引当金繰入額159億67百万円を計上したことにより、前年同期比91億28百万円減少しました。

詳細はWEBサイトをご参照ください。

当社は、半期毎の報告書の他、IR説明会資料やアニュアルレポート等をホームページに掲載し、株主の皆様を始め投資家の皆様への情報提供に努めております。各種IRツールは、下記URL（当社ホームページ／株主・投資家情報ページ）にてご覧いただけます。

<http://www.jsw.co.jp/ir/>

日本製鋼所 IR

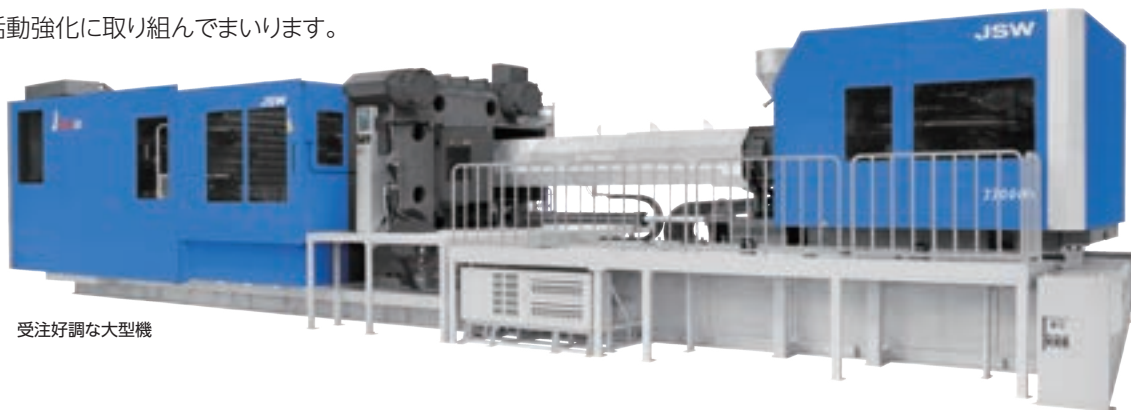
検索



過去最高の受注高を記録した 射出成形機

自動車分野に強みを持つ成形機事業

当社の成形機事業は、小型から超大型までの高性能な電動成形機を幅広くラインナップし、主に自動車分野に注力して、販売体制やサービス体制の連携強化やグループ会社の再編などの施策を実施してまいりました。このことが奏功し、当中間期における受注高は過去最高を記録しています。下半期に向けても、強みを持つ自動車分野での更なる受注拡大に加え、北米市場や中国市場での営業活動強化に取り組んでまいります。

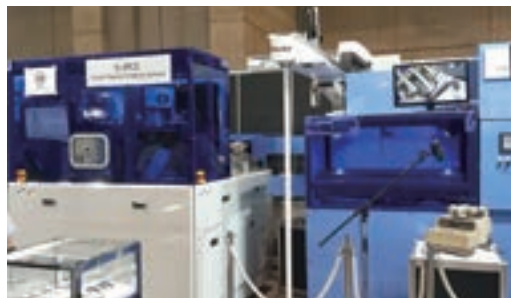


受注好調な大型機

新たな成長の原動力となる先進技術 ～自動車向けLEDランプ関連～

市場拡大が今後も期待される自動車分野における当社の強みを更に高めるべく、各種成形技術の開発を推進しています。

中でも、自動車のヘッドランプではLEDの採用が広がっており、当社はLEDランプを構成する様々な部品を成形する技術開発・実用化に注力しています。



LEDランプ向け成形システム

過去最大規模の受注案件を獲得した クラッド鋼管

中央アジアにて200億円規模の受注を獲得

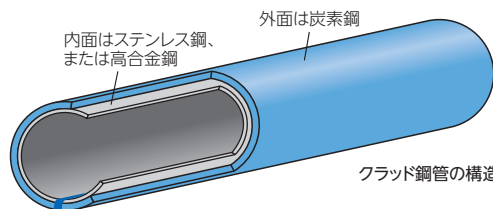
当社はクラッド鋼管の生産を1970年代より室蘭製作所にて手掛けており、世界中に豊富な販売実績を持っています。

同製品は、耐腐食性を有する複合材料鋼管で、主に天然ガス田にて、天然ガスの輸送用に使用されます。当社は素材から一貫し製造するメーカーで、累計世界シェア70%を誇ります。

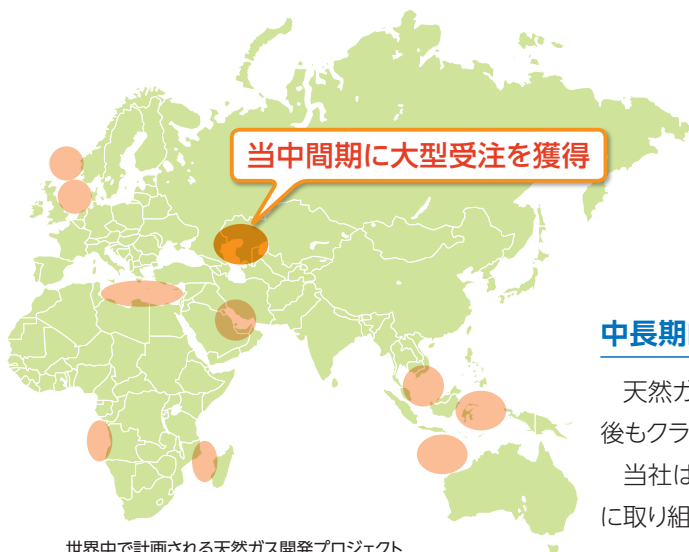
今般、お客様の要求を満たす製品を提供し続けてきた実績と高い技術力が評価され、当社にとって過去最大規模となる約200億円の受注案件を獲得しています。



クラッド鋼管の船積み



クラッド鋼管の構造



中長期的に需要が見込まれるクラッド鋼管

天然ガスの開発プロジェクトは世界中に豊富にあり、今後もクラッド鋼管への需要は堅調に推移する見込みです。

当社はこの伸長分野への営業活動を強化し、受注拡大に取り組んでまいります。

会社概要

会社の概要 (2014年9月30日現在)

創 業 明治40年11月1日
 設 立 昭和25年12月11日
 資 本 金 196億9,423万561円
 従 業 員 数 単体：2,252名
 (就業人員数) 連結：4,937名

取締役及び監査役 (2014年9月30日現在)

代表取締役社長 佐藤 育男
 代表取締役副社長 田中 義友
 代表取締役専務執行役員 水谷 豊
 取締役専務執行役員 門田 彰
 取締役専務執行役員 清水 信明
 取締役上席執行役員 渡邊 健二
 取締役上席執行役員 東泉 豊
 取締役(社外) 佐藤 元信
 常勤監査役 岩下 壽夫
 常勤監査役 石堂 隆雄
 常勤監査役(社外) 河上 守
 監査役(社外) 佐藤 昭

執行役員(取締役兼務者を除く) (2014年9月30日現在)

常務執行役員 濱尾 博 執行役員 赤羽 博夫
 常務執行役員 小林 伸久 執行役員 宮内 直孝
 常務執行役員 小野 信市 執行役員 柴田 尚
 常務執行役員 北村 和夫 執行役員 清水 誠
 上席執行役員 松尾 洋久 執行役員 折田 勝利
 上席執行役員 石橋 義尚 執行役員 大下 真雄
 上席執行役員 藤村 浩 執行役員 村上 博司

(注) 当社は、取締役 佐藤元信氏並びに監査役 河上守氏及び佐藤昭氏を東京証券取引所及び名古屋証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

株式の状況 (2014年9月30日現在)

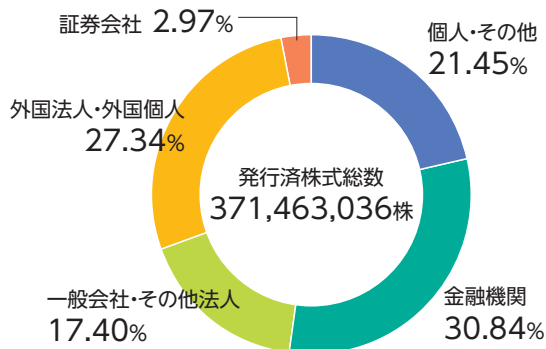
発行可能株式総数 1,000,000,000株
 発行済株式総数 371,463,036株
 株 主 数 30,287名

大株主 (2014年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三井生命保険株式会社	14,138	3.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	13,495	3.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,937	3.49
株式会社三井住友銀行	12,550	3.39
ノーザントラストカンパニー(エイエアジア)アカウント ノトリテイ	11,468	3.10
CBNY-KOPERNIK GLOBAL ALL-CAP FUND	10,330	2.79
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	9,478	2.56
三井住友海上火災保険株式会社	8,824	2.38
三井住友信託銀行株式会社	8,152	2.20
ジユニーパー	8,079	2.18

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式(1,191,038株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況 (2014年9月30日現在)





ネットワーク (2014年9月30日現在)

● 本社

東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL. (03)5745-2001 (大代表)
FAX. (03)5745-2025

● 支店・営業所

札幌支店 (札幌市中央区)
名古屋支店 (名古屋市中区)
関西支店 (大阪市西区)
中国支店 (広島市安芸区)
九州支店 (春日市)
東北営業所 (仙台市宮城野区)
関東営業所 (川口市)
関西営業所 (吹田市)
府中出張所 (府中市)
浜松出張所 (浜松市中区)

● 研究所

室蘭研究所 (室蘭市)
広島研究所 (広島市安芸区)
横浜研究所 (横浜市金沢区)

● 工場

室蘭製作所 (室蘭市)
広島製作所 (広島市安芸区)
横浜製作所 (横浜市金沢区)

● 主な国内子会社

JSW ITサービス株式会社
ファインクリスタル株式会社
株式会社タハラ
株式会社ニップラ
エムジープレシジョン株式会社
日鋼YPK商事株式会社
株式会社名機製作所
日鋼特機株式会社

● 海外拠点

アメリカ	Japan Steel Works America, Inc. JSW Plastics Machinery, Inc.
インド	JAPAN STEEL WORKS INDIA PRIVATE LIMITED
インドネシア	PT. JSW Plastics Machinery Indonesia
韓国	JSW IT KOREA CO.,LTD.
シンガポール	THE JAPAN STEEL WORKS (SINGAPORE) PTE. LTD.
タイ	The Japan Steel Works (Thailand) Co., Ltd.
台湾	JSW Plastics Machinery (TAIWAN) Corp.
中国	Fine Crystal (H.K.) Co., Ltd. Fine Crystal Precision (S.Z.) Co., Ltd. JSW Machinery Trading (Shanghai) Co., Ltd. JSW Plastics Machinery (H.K.) Co., Ltd. JSW Injection Machine Maintenance (Shenzhen) Co., Ltd. NINGBO TONGYONG PLASTIC MACHINERY MANUFACTURING CO., LTD. JSW Machinery (Ningbo) Co., Ltd. Y P K TRADING (HONG KONG) CO., Ltd. Y P K Machine Trading (Shenzhen) Co., Ltd.
ドイツ	Japan Steel Works Europe GmbH
フィリピン	JSW Plastics Machinery (Philippines) Inc.
ベトナム	JSW Plastics Machinery Vietnam Ltd.
マレーシア	JSW Plastics Machinery (M) SDN. BHD.

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告掲載方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(1部)、名古屋(1部)

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

配当金のお受取り方法について

配当金を配当金領収証でお受取りの株主様には、確実に配当金をお受取りいただける口座振込のご利用をおすすめいたします。ご希望の株主様は、お取引の証券会社（特別口座に記録されている株主様は特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社）へ所定の用紙をご請求の上、お申込みください。

ホームページのご案内

当社の企業活動、製品などに関する詳しい情報につきましては、「株式会社日本製鋼所ホームページ」でご覧いただけます。こちらもどうぞご利用ください。

<http://www.jsw.co.jp/>



日本製鋼所

検索

2015年 IRスケジュール

- 2月上旬 ● 第3四半期決算発表
- 5月上旬 ● 通期決算発表
- 6月下旬 ● 定時株主総会開催
- 期末配当金お支払い
- 第89期報告書発行



この報告書は、環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。